

国際比較からみた 国会審議の特色と問題点

日時：2014 年 7 月 10 日（木）17：30～

場所：お茶の水女子大学 人間文化研究棟 6 階大会議室

国際比較の視点から見た日本の国会の特異性は、女性議員が少ないこと、そして本会議審議時間が短いことである。また、法案起草や公聴会開催などの強力な権限をもつ専門分野別の常任委員会のしくみが整備されているにもかかわらず、法案修正はきわめて低調であり、外国の比較議会研究者の間で謎とされてきた。国会で実質的な法案審議が行われないのはなぜなのか、どうすれば活発な審議を実現できるのか、制度と運用の両面から考えたい。

講師：大山 礼子（おおやま れいこ）駒澤大学法学部教授

<プロフィール>

一橋大学大学院法学研究科修士課程修了。博士（法学）。国立国会図書館勤務、聖学院大学助教授、同教授を経て、2003 年より現職。第 29、30、31 次地方制度調査会委員、衆議院選挙区画定審議会委員。専攻は政治制度論。

主要著作として、『国会学入門』三省堂、1997 年。『住民投票』（共著）ぎょうせい、1999 年。『国会学入門・第 2 版』三省堂、2003 年。『比較議会政治論』岩波書店、2003 年。『マニフェストで政治を育てる』（共著）雅粒社、2004 年。『日本の国会 審議する立法府へ』岩波新書、2011 年。『フランスの政治制度・第 2 版』東信堂、2013 年

定員 50 名 参加費：無料

申し込み：メールでお申し込みください。件名：「7/10 研究会参加申し込み」、メール本文にお名前、ご所属を明記して、igsoffice@cc.ocha.ac.jp 宛にお送りください。